

事務事業名		健康増進事業(各種がん検診)		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業								
政策体系	政策名	04: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目								
	施策名	17: 生涯にわたる健康づくりの推進												
	基本事業名	01: 保健・予防活動の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和42 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計	款	項	目	事業				
根拠法令		健康増進法		01	04	01	01	09						
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター												
	係名	保健指導・予防係	電話	0192-27-3111										
			内線	437										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)								
①例年は検診対象者である住民に対して、各種がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん)の受診票を一括送付するが、23年度は震災の影響により受診票の事前送付はせず、市広報等で周知を図った。 ②具体的な業務 例年は(1)受診票作成・発送、(2)検診日程調整、(3)検診当日の受付・会計事務、(4)結果発送、(5)統計処理、(6)報告を行うが、今年度は上記の理由により(1)は実施せず。 ③事業費は検診委託機関への委託料や必要物品購入費などに支出する。 ④この事業は、平成20年度から健康増進法に基づく保健事業として実施している。 ⑤平成21年度に來年度の検診受診意向調査はがきを受診票に取り入れたことにより受診希望者数を把握できた。 ⑥平成21年度から、特定年齢の女性に無料クーポン券と検診手帳を送付し、受診勧奨を促す、国の補助事業「女性特有のがん検診推進事業」を開始した。23年度から事業名が「がん検診推進事業」に変更された。 ⑦平成21年度から前立腺がん検診を健康診査関連事業から各種がん検診事業へ移行。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金						
								都道府県支出金						
								地方債						
								その他						
								一般財源						
事業費計(A)										0				
人件費	正規職員従事人数													
	延べ業務時間													
人件費計(B)										0				
トータルコスト(A)+(B)										0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 1)当事業のうち検診については、岩手県対がん協会、岩手県予防医学協会に委託し、検診車方式で各地区をまわり実施した(子宮がん検診は医療機関での検診を併用)。2)住民からは、それぞれの検診ごとに一部負担金を徴収、また国の補助事業である「女性特有のがん検診推進事業」により特定の年齢の女性に無料クーポン券等を送付した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 1)検診の実施方法は、ほぼ前年度と同様とするが、受診票の配布はせず、市広報等で周知を図る。2)震災のため検診時期が大幅にずれ、肺がん検診は特定検診と同時開催とする。3)今年度より、子宮・乳がん検診の対象を年齢により選定(偶数年齢対象)する。		名称 単位 ア 検診の受診者数 人 イ ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ①胃がん検診:35歳以上の男女、②大腸がん検診:40歳以上の男女、③肺がん検診:40歳以上の男女、④子宮がん検診:20歳以上の女性、⑤乳がん検診:40歳以上の女性、⑥前立腺がん検診:50歳以上の男性		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 検診対象者数 人 キ ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ①がんを早期に発見し、早期治療に努める。 ②検診をきっかけに、健康管理についての意識を高める。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 検診受診率 % シ 精密検査受診率 % ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 健康に気をつけてもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	3,201	3,201	3,201		
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	8,177	8,177	8,177	8,177	8,177
		一般財源	千円	31,222	31,222	31,222	34,423	34,423
	事業費計(A)		千円	42,600	42,600	42,600	42,600	42,600
	人件費	正規職員従事人数	人	11	11	11	11	11
		延べ業務時間	時間	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218
		人件費計(B)	千円	8,872	8,872	8,872	8,872	8,872
	トータルコスト(A)+(B)		千円	51,472	51,472	51,472	51,472	51,472
⑤活動指標	ア	人	7,024	19,631	26,175	32,719	32,719	
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	65,438	65,438	65,438	65,438	65,438	
	キ					0	0	
	ク							
⑦成果指標	サ	%	10.7	30	40	50	50	
	シ	%	85	95	95	95	95	
	ス							

事務事業ID	0275	事務事業名	健康増進事業(各種がん検診)
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	老人保健法により、がんの死亡率を低減させるため、市町村でのがん検診推進が保健事業として定められた。(現在は健康増進法による)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・検診による2次予防より、生活習慣の改善による1次予防が重視されるようになってきた。 ・国の指針により、検診方法や検診を受ける間隔が見直されている。 ・受診者の中で、65歳以上の高齢者の割合が増加してきている。 <p style="text-align: right;">・平成17年度から、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正に基づき、子宮がん、乳がん検診は毎年の実施ではなく、2年に1回の受診間隔となった。また、子宮がん検診の対象年齢が20歳以上となった。</p>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・23年度は、子宮・乳がん検診の対象を地域別から年齢別に変更する調整の年として、住民からの問い合わせが多かった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ がんの予防、早期発見・治療により生涯にわたる健康づくりにつながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 健康増進法により、がんの死亡率を低減させるため、市町村でのがん検診推進が保健事業として定められている。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・子宮頸がん検診の対象者が20歳以上となり、若年者に子宮頸がんが増加していることから、20歳代の受診者を増加させる取り組みが必要。 ・従来の方法だと、転居により連続して子宮頸がん・乳がん検診の対象とならない住民がいることから、対象選定方法の見直しが必要とされていたところを改善した。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 今年度は震災の影響で受診票が個別配布できなかったためか、受診者数が少なかった。また住民にただ検診を受けばなしにすることがないように話し、精密検査受診率が95～100%となることを目標にすることで、市民の健康維持につながる。また、自覚症状が出現する前の受診により、医療費の削減にもつながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止、休止することで、検診を受ける人と受けない人の格差が生じ、住民全体のがん予防につながらない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 検診車により地域をまわる検診体制と、専門の検診機関を利用した検診は、住民サービスと検診の精度管理の上で最良の方法である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 職員の事務量を軽減するため人件費を削減しようとする、検診委託機関に全てを依頼することになるため事業費は高くなる。また、外部への事業費を削減しようとするとその分の事務を職員が処理することになり、人件費がかかる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 検診に従事する職員は、問診などの専門知識と個人負担金徴収等の責任を伴う業務が要求されるため、現状の対応が望ましい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受診者から一部負担金を徴収して費用負担の適正化に努めている。

事務事業ID	0275	事務事業名	健康増進事業(各種がん検診)
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮・乳がん検診の対象選定方法の見直しを行ったことにより、転居の理由で受診できないことがないように改善できた。 ・震災の影響で、市外に避難している市民の受診機会の拡充の取り組みが必要。 ・精密検査の受診率向上に向けての取り組みが必要。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災の影響による未受診者を出さない工夫 ・受診率向上のための各機会をとらえた検診のPR ・精密検査未受診者に対する受診勧奨及び指導。 	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>住民意識を向上させるため、そのために啓発活動を積極的に展開する。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健介護センター所長	
-------	------------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>受診率の向上を図りながら、健康管理意識の向上を目指すべきである。対象住民への啓発により、受診率の向上が期待できる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>事業効果を向上させるため、受診対象者の増加を図る。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
